

# わたしたちの暮らしと税金との関わりを考える

河北町立西里小学校教諭 6学年 牧野 亜希子  
 実施年月日：7年4月17日～12月15日 16名

## 1 実践計画・指導のねらい

「税金と聞いて何を思い出す？」と聞くと、子ども達の多くは、「消費税。」と即座に答える。「食品は8%で、それ以外は10%。」と税率も詳しい。それほど、消費税は子ども達の生活の中に根付いている。しかし、他に知っている税はないかとたずねると即答はできない様子だった。税金が自分たちの暮らしと関わっていることは理解しているが、どのように自分たちの暮らしに返ってきているか、どのように使われているのかについては、ほとんど考えが及んでいないと思われる。そこで、社会科の単元『私たちの生活と政治』の中での、「納税の義務」とも関連付けながら、税金の必要性や重要性について考えていきたい。

## 2 単元構成・実際の指導状況（単元を通した全体の主な学習計画及び教師の指導）

時間	学習内容	主な発問 (○)、子どもたちの反応 (●)、使用教材等 (□)
1	・日本国憲法	○ <u>日本国憲法にはどんな考え方があり、暮らしとどんなつながりがあるのだろうか</u> ● 3つの原則があり、その中の基本的人権の尊重が私たちの暮らしと深くつながっていることが分かった。 □ 教科書「新しい社会」(東京書籍) □ 社会科資料集(正進社) □ 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
2	・基本的人権の尊重の中の、納税の義務に関わって、税金の種類について調べる。	○ <u>わたしたちは、どんな税金を納めているかを調べよう。</u> ○ 納税の義務は、憲法の三原則の内のどれに入るでしょう。 ● 基本的人権の尊重の「権利と義務」に関わっている。 ● 税の種類が多すぎて、大人になって納められるのかな。 ● 聞いたことのない税金もあって、こんなにたくさんの税金、ない方がいい。 ● 身の回りに、こんなにたくさんの税があるなんてびっくり。 ● 税金は日本だけじゃないことが分かった。 □ 教科書「新しい社会」(東京書籍) □ 社会科資料集(正進社) □ 児童用タブレット(調べ学習) □ 副教材「わたしたちの暮らしと税金」
3	・山形税務署「租税教室」を通して、税金の使い方や税金の仕組み、税金の種類などについて学び、税についての理解を深める。	○ <u>税ってなんだろう？何に使われているのでしょうか。</u> ● 税金の種類が50種類もあって、おどろいた。 ● ポテトチップス税とか犬税とか 本当にあったと知って、おもしろい。 ● 火事が起きてもお金がないと消防車が呼べないと知って、生活にとって税金は絶対に必要だと思った。 ● 学校を建てるのに10億円もかかることや西里小の6年生が1年間学校で勉強するのに、8千万円以上かかっていることにびっくりした。 ● 1億円って重い。束にすると大きい。 □ 税のビデオ(マリンとヤマト又はアナザーワールド)
4	・税についての学習をふり返り、分かったことや考えたことを交流しまとめる。	○ <u>身近な暮らしとかかわる税金についての学習をふり返ろう</u> ● 修学旅行の費用の中に、日本独特の入湯税もあったんだと知った。 ● 委員会で使った模造紙やマジックも税金が関わっていると気づいた。 ● 税金は、社会で暮らすために支払う「会費」のようなものだ分かった。 ● 暮らしの安心と安全のためには、税金が必要だと分かった。 □ まんが「おじいさんの赤いつぼ」(大蔵税務協会発行)

### 【指導のポイント】<1時間目>

社会科単元『私たちの生活と政治』の学習を通して、憲法の3原則と暮らしとの関わりについて、義務としての「税」を丁寧に扱うようにする。

### 【指導のポイント】<2時間目>

「納税の義務」について、日本国憲法の3つの原則とのつながりを想起させる。どんな税金を納めているのかを調べさせることで、わたしたちの暮らしの中の至る所に「税金」が関わっていることに気づかせ、次時の「租税教室」につなげていく。

### 【指導のポイント】<3時間目>

山形税務署の講師による専門的な話を聞くことで、税についての理解を深めることができた。税金がわたしたちの暮らしになくしてはならないものだということを知り、日常の様々な場面や物について、税との関わりを考えさせる。

### 【指導のポイント】<4時間目>

修学旅行や学校生活など、身近な生活体験を想起させ、学んだ「税」と結び付けてふり返らせる。税に対する考えをまとめさせる。

## 3 実践の成果 (◎) と課題 (◆) (租税教育を実施後、教諭自身の感想や児童・生徒の反応、他の教諭に対して、今後参考としてほしい事項など)

- ◎ 日本国憲法の基本的人権の尊重、納税の義務と関連付けることで、税金が自分たちの暮らしと強く結びついていることを理解するのに役立った。
- ◎ 事前にいただいた副教材の「私たちの暮らしと税金」は税を理解するのに、入り口がクイズで興味を引き、内容がコンパクトで使いやすかった。
- ◎ 将来、河北町の小学校が統合することを知っている児童にとって、学校建設や教育費に莫大なお金がかかるという事実は、自分たちにとって身近で驚きの内容だった。税金の使われ方を理解したり、その必要性を実感したりするのにとても有効な情報だった。
- ◆ 租税教室を中心に単元を構成したが、児童の考えから生まれた対立意見を使ったディベートや学んだ内容を活用して税のはがきコンクールへの参加などの発展的な活動を組んで、より自分ごととなる取り組みができるとよかった。